



アスモ新聞はアスモのホームページ www.asumo-kaigo.jpからもご覧になれます。上記のアドレスか【在宅介護センター・アスモ】で検索してください。
「人に喜ばれる仕事を！」のアスモは、みなさまとの新たな出会いをお待ちしております。

〒165-0026

中野区新井1-26-4-2F

03-5318-4007



花堂浩一
10個しか売れないプリンを間違って100個発注してしまいました。さてあなたはどうしますか？

「これは何のチャンスだろう？」
「これはプリンを1000個売って上司に新聞の折込チラシでPRさせて欲しい」と直訴します。



彼の編み出したアイデアはこうです。コピー用紙にマジックでこう書いて、スーパーの入りに口に貼り...



「これは何のチャンスだろう？」
「これはプリンを1000個売って上司に新聞の折込チラシでPRさせて欲しい」と直訴します。

「これは何のチャンスだろう？」
「これはプリンを1000個売って上司に新聞の折込チラシでPRさせて欲しい」と直訴します。



これを私たちに置き換えると、介護保険制度が益々厳しくなります。今、介護業界はあまりの大きなマイナス改定にどこも暗く...

シニアハウスコム 0120-5318-77

こんにちは。相談員の盛田です！今回は、「生活リハビリ」をテーマにお話いたします。下記の事例を元に生活リハビリに対して考えてみましょう。



施設での暮らし

在宅での暮らし



- 7:00 起床
着替えなどの身支度の介助
7:30 朝食
ベッドから車椅子に移乗してリビングで食事
9:00 リビング
体操・談笑
その後、リビングから居室へ車椅子からベッドに移乗。
12:00 昼食
ベッドから車椅子に移乗してリビングで食事
13:30 入浴週2回
入浴介助
14:00 レクリエーション・おやつ
音楽セラピー・外気浴等
その後、リビングから居室へ車椅子からベッドに移乗。
18:00 夕食
ベッドから車椅子に移乗してリビングで食事
20:30 就寝準備
着替えなどの身支度の就寝介助



- 7:30 起床・朝食
訪問ヘルパーが訪問。着替えなどの身支度の介助
ベッドでの食事
12:00 昼食
訪問ヘルパーが訪問。ベッドでの食事
14:00 訪問入浴週2回
入浴介助
18:00 夕食
訪問ヘルパーが訪問。ベッドでの食事。着替えなど就寝介助



図の赤文字は、一日の生活上で、ご本人が身体を動かしたり・誰かと関わりを持てる部分を表示しています。それが生活リハビリです。

お体の状況によっては、リハビリの専門家が居なくても施設内での生活の中で、リハビリの部分を補えるのね。

【1日の合計】
介助の回数：11回
ベッドから離れた回数：4回

【1日の合計】
介助の回数：6回
ベッドから離れた回数：1回

平成27年1月から、相続税および贈与税のルールが大幅に変わり、課税対象となる方々が増える見込みです。当社にもいくつかのお問合せがあったことで、専門家のご意見をお聞きし共に勉強していきたいと思い、今月号の紙面より「暮らしと相続の相談窓口」を運営されている司法書士門脇法律事務所の門脇先生に記事連載のお願いをいたしました。

**Q.生前贈与をしておいたほうが良いとよく聞きますが、なぜでしょうか？**

**A.生前贈与は相続対策の方法として一番使われている手法です。生前贈与をする理由は大きく次の3つであると思います。**

①相続税を軽減させるため、②権利関係を確定するため、③住宅購入資金などお子さんやお孫さんへの援助のためです。

- ①の場合、まず相続税がいくら位になるのかを計算したうえで、本当に生前贈与が必要かどうかを見極める必要があります。様々な控除を利用すれば相続税がかからず、相続税対策が必要ない場合もあるからです。
- ②の場合、今のうちから権利をお子さんやお孫さんに確定的に移転しておいて、後で争いが起こらないようにするために使われたりします。この場合贈与税がかかることもありますので、慎重に行わなければいけません。
- ③の場合、一定金額については贈与税がかかりませんので、相続税対策にもなります。細かい要件を確認すること、申告をきちんとすることが必要になります。

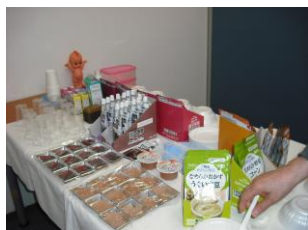
いずれにしても、後でやり直したいという相談もよくありますので、しっかりとした目的をもって行わないといけないですね。ご相続の準備や成年後見制度についてのお問い合わせはこちらにご連絡ください。「アスモさんの紹介で」と言っていたらとご相談は無料になります。



東京都世田谷区祖師谷3丁目4番7号  
伊地智ビル1階  
「暮らしと相続の相談窓口」  
司法書士門脇法律事務所  
電話03-5429-1096

たんぽぽ質やエネルギーが不足すると、体重の減少や免疫力の低下により、感染症や褥瘡などが発生しやすくなります。良質なたんぽぽ質、エネルギーを摂っていただくことで、いつまでも健康で生き活きとした生活を送っていただきたいと思えます。

## 「高齢期の食事のポイント」



## たんぽぽミ勉強会の「報告」

平成27年2月27日(金)18時より事務所にて、ミ勉強会を開催いたしました。

今回は、キューピー株式会社の前田様をお招きして「介護食の試食・説明会」を行いました。

高齢や病気が原因で、噛む力や飲み込む力が弱くなっても食事をおいしく食べられるように工夫をした商品を紹介していただきました。

試食をし、あらためて食べることや、水分補給の大切さを勉強いたしました。

ご参加された9名のヘルパーさん方、お疲れさまでした。

(たんぽぽ介護所長 村岡志づ江)